



自己分析ノススメ

初めまして、関目教室で個別クラスを担当して3年目になる井上莉来と申します。私は関目教室の中学部と開智予備校でお世話になり、現在は甲南大学で法律を学んでいます。趣味は休日に家族や友人と海釣りに出かけること。そして、達成したなと思うことは、小学校5年生の頃から十年間空手を続け、目標であった黒帯を取得できたこと。

つまらない私の自己紹介はさておき、私も三回生になり就職活動を始めるに当たって自己分析をする機会が増えました。今までは自分自身について深く考える機会はあまりありませんでしたが、実際に自己分析してみると案外面白いものです。こ

の文章を読んだ皆さんも是非一度、自己分析を試してみてください。いきなり自己分析と言われても難しいかもしれないので、まずは好きなものや今取り組んでいることなど、身近なものから始めてみるのも良いのかもしれません。

今年度は関目教室で個別クラスの受験生を見させていただいていることもあり、生徒達にもよくこの話をしていますが、受験生は今一度、普段の生活だけではなく、勉強面においても自己分析を行っていただきたいと思えます。

手元には、夏期終わりに受験した模試の結果があると思います。点数や偏差値を見て一喜一憂するだけではなく、今後の成長に活かせるよう、自分自身についてもっと知ってください。例えば、模試結果の正答率の欄を見ると、自分の弱点単元

井上 莉来(関目教室)

を発見することができます。特に解けなかった問題や得点が低かった分野を特定することで、より有効な学習計画を立てることが出来ます。このように、模試を受験するだけでなく自己分析に活用することで新たな目標や学習法が見えてきます。

最後になりますが、2学期も始まりこれから定期テストや実力テスト、模試などと秋のテストが次々とやってきます。日々の自己分析を忘れずに、前向きに頑張っていきましょう。もちろん、悩みや困りごととも出てくると思うので、そんな時は一人で考え込まず、些細なことでも私達講師に相談し頼ってください。きっと悩みの解決や成長に繋がるアドバイスがもらえらると思います。私自身もまだまだ未熟な部分もありますが、生徒の皆さんとともに成長できるよう、今後も尽力していきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。



シルバの ちょっと

TEACHER'S VOICE Talking Kids Silvestre Benigno Medelin

Summer of Learning and Fun! 学びと楽しみの夏!

少し季節外れですが、サマーレッスンの思い出について書こうと思います。今年の夏もみなさんにはワクワクとした興奮とためになる学びを体験していただきました。今年は従来の実験を超えるものにしようと思いました。サマーレッスンでは、様々な学習を通して生徒のみなさんに夏を楽しんでもらうことを目的としています。

まずサマーレッスンにたくさん参加していただけるように、キッズ部門のみなさんをトーキングキッズのフリーレッスンに招待し楽しい授業を体験していただきました。レッスンでは楽しく学習の成果を得るために英語のゲームを取り入れました。カリキュラムは新しくサマーレッスンから参加する新入生のレベルに合わせて作成していますので難しくはありません。生徒達が楽しみながら学んでいるのを見て非常に嬉しく思いました。レッスンに組み込まれた英語ゲームでは、人前で恥ずか



しいという気持ちを克服すること、また英語学習への意欲を高めることができたと思っています。楽しい英語のレッスンとフリーレッスンの最後に配られたお菓子で「TKのサマーパーティーは楽しい」と感じていただけたでしょう。

さらにサマーレッスンの最後には、みんなが楽しみにしていた科学実験を行いました。今年の科学実験は私達講師が何度も意見交換を繰り返した結果、みなさんを驚かせるようなものを考え出しました。もちろん生徒の安全を第一に考えますが、それと共に驚かせるようなことをしたかったのです。磁石とスライム、水と砂鉄、光の屈折、発泡、新聞紙と割り箸の実験などを行いました。砂鉄を混ぜたスライムが磁石に引き寄せられるとカタツムリのようになることにみんなとても驚いていました。コップに水と砂鉄を入れる実験ではみんなの興奮が伝わってきました。磁石がガラスや木、そして手のひらさえも貫通することを



知り、とても驚いていました。光の屈折の実験では、光によってイメージや色が変わることを発見して驚いているのが顔を見ているだけでわかりました。次に重曹と酢を混ぜると水と二酸化炭素が発生し、泡がブクブクと出てくることを学びました。新聞と割り箸の実験では生徒達の勇気が示されました。驚いているみんなの表情は目に見えてわかります。他の人が新聞の下の割り箸を片手で折っているのを見て、みんな自分もやってみようという衝動に駆られました。まさか全員が片手で割り箸を折ろうと頑張るとは思いませんでした。みんなは空気が新聞を押していることで、割り箸がその場に留まっていることを感じ取ることができたようです。このように、生徒達に大きな感動を与えられたことは教師としての自己実現にもつながります。

実験終了後には生徒達は気づきと学びで溢れていました。子供達の心に火をつけることは子供の成長にとって極めて重要です。学びや発見を経験したいと思わない人はいないでしょう。トーキングキッズでは夏休みの学習活動を通して、生徒達にたくさんの体験を与え、最高の学習をお届けしたいと思っています。今年のサマーレッスンも大成功に終わりました。来年も楽しみにしててください。今年参加できなかった方も来年は是非ご参加ください。お待ちしております!!!



生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

教科書改訂から考える教育環境の変化

先日、区役所に小学校の教科書を閲覧に行きました。その理由は来年度の教科書改訂です。皆さん、2019年度に発表されたGIGAスクール構想はご存じですか。この構想に従って2020年には、ほぼ全ての子供達にコンピュータ端末が行き渡り、学校のWi-Fi環境も整えられました。

そして来年、デジタル教科書の導入がスタートします。右は新しい算数の教科書です。多くのページにQRコードがついており、これを読み込むと教科書の内容を説明してくれたり、問題や解答が表示されたりします。国語では読むのが苦手な生徒のために朗読してくれたり、作者のインタビュー動画などもあります。21世紀って感じですね。



でも、塾教材はもっとすごいことになっています。

右は、塾教材に準拠して動画が解説してくれるシステムです。テキストへの線の引き方から問題の解法まで至れり尽くせりです。カイチでも一部このシステムを導入していますが、残念ながら生徒達は動画を見ずにテキストの文章を自分で読み、分からない所は先生に質問します。「なんで動画見ないの?」と聞くと生徒は「先生に聞いた方が早いやん!」なるほどその通り。下手な大人より子供達は合理的です。



このような教材の今の流行は、やはりAIです。AIを使った教材は優れものでタブレットに表示される問題を解くとAIが生徒各自の弱点単元を分析してくれます。このシステムのすごさはそれだけではなく、その単元を構成する要素までを分析し、そこまで戻って学習させてくれます。更に、先生の端末にはタイムリーに「この子は詰まっている」「この子は解説を読まずに進んだ」なども表示され適切に声をかけられるようになっています。

実はカイチではこの教材の導入を検討していました。しかし、調べてみると、戻り学習を過ぎてテスト対策に間に合わないケースが多い、(やはり経験ある先生の方が端的に弱点箇所気づいて指導し、テスト箇所まで戻って指導できる)、また、生徒は端末の学習に飽きてしまい学習が続かないという問題点が出てきました。

少し話は変わりますが、カイチでは4年ぶりにイングリッシュキャンプを実施しました。この時気づいたのは、コロナ前に比べ子供達に、協調性がなくなった

のではということでした。みんな「～は知っている」とか「～も知らないの?」という言葉は多いのですが、いざやろうとなると行動が伴わない。最初は少し頭でっかちな印象を持ちました。ただ、イングリッシュキャンプが終わる頃には、子供達の顔は全く変わっていました。キャンプでは布団のたたみ方、食器の返却の仕方まで細かく指示され、できるまでやり直しをさせられます。晩御飯は飯盒炊爨で自分達で作らなければ食べることもできません。理屈よりもやってみる。やってみる中で、仲間と知恵を出して乗り越えていく経験が子供達の心に何らかのスイッチを入れたのだと思います。

一見合理的で効率的に見えるICT教材に感じるつまらなさや、不便だらけのイングリッシュキャンプが子供達の表情を変える現状を考えた時、やはり人間は本能的にバーチャルよりも体験や触れ合いを求めている。また、むしろそのようなことが現代社会を生きる上では重要なのではないかという気がします。

2022年のイグノーベル賞経済学賞を受賞した「成功するには才能か運のどちらが必要か」をコンピュータシミュレーションを使って数学的に統計的に解明した研究において、成功には「運」が必要という結果が出たそうです。

正確には「才能は平均より僅かに上で、運が良い人」が最も成功したということですが、決して努力が無駄ということにはならないようです。ポイントは巡ってくる幸運なイベントを活かせるかどうかだそう。そのためには、「オープンマインドで他者と接する準備ができてい人」でなければならないとのことこの実験の研究者は述べています。

オープンマインドを示す要素としては、開放性・協調性・勤勉性・外向性・情動性(心の安定性)が紹介されていましたが、成功において大切なのは、運を引き込む「人間性」ということになりそうです。

このように見ていくと、勉強そのものは、生きる上で必要な学力を身に付けるという意味で当然大切ですが、それに取り組むことで付随的に身に付く粘り強さや、継続する力などの目に見えない力が、皆さんの将来において重要なことが分かります。また、そのように考えると学校でのクラブ活動や遠足、修学旅行などの野外活動、運動会や文化祭なども、大切な力を育む機会であることが分かります。

バーチャルよりもリアルの世界でたくさん体験することで「楽しい」「うれしい」「かなしい」「くやしい」などの感情を思いっきり味わってみる。その中に、社会を生きるための大切な何か「潜んでいるような気がします。昔の人は「よく遊び、よく学べ」と言いましたが、学生生活の今を、思いっきり味わうことが、みなさんの「運」を引き込む力、生きる力を育てることに繋がるのではないかと思います。

カイチからの お知らせ

- 10月13日(金)・14日(土)は全クラス休講日です。ご注意ください。
- 10月17日(火)は珠算・パスカルキッズ・トーキングキッズ・小学部は休講日です。ご注意ください。
- 10月22日(日)は珠算1級〜3級の検定試験です。21日(土)は直前練習を行います。詳細は授業内でお知らせします。
- 10月22日(日)は中学3年生対象に進研模試合場受験が実施されます。必ず受験するようにしてください。
- 10月29日(日)は珠算段位検定試験です。10月28日(土)は直前練習を行います。時間は授業内でお知らせします。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

かいち学童は箱舟

イラストレ・ルイージ (かいち学童)

神様がノアにおっしゃいました。「これから大洪水が



起こります。箱舟を作って、家族や動物達を集めなさい。」ノアは箱舟を作る時に、たくさんの人を誘いましたが、ノアの家族しかノアの話の聞いてくれませんでした。ノアは大きな箱舟を作りました。動物達がやってくると、神様のおっしゃった通りに2匹ずつ、箱舟に乗せました。大粒の雨が降り始めました。どこもかしこも嵐になりました。川は海になってやがて時間が経つと地は水に沈んでしまいました。そして何か月か経って、水がすっかりなくなるとノアも家族も動物達も箱舟から降りることができました。大洪水を起こさないと約束してくださった神様が、大空にきれいな虹をかけてくださいました。これは聖書で有名な「ノアの箱舟」の話です。現在、大雨が洪水になってしまうような時代であって、日本では就労人口が減り、共働き家庭が増えました。子供達の教育は今まで通りでよいのでしょうか？



かいち学童は開智総合学院が始めた学童教育です。2年前に関目教室のビル

のワンフロアを借りて始めました。この関目学童が好評を得たこともあり、今年度は今福教室にもかいち学童を開きました。お

かけさまで、今年度は関目学童の募集定員が満員になり、今福学童も現在、来年度予約を多数いただいています。かいち学童のコンセプトは「子供達の習慣作り」。高木塾長はかいち学童をスタートする時、私に福沢諭吉の「家庭は習慣の学校なり、父母は習慣の教師なり」という言葉を教えてくださいました。そして、仕事が忙しいご両親をお手伝いする形で、かいち学童が子供達の習慣の学校になろう、と話されました。

かいち学童では、将来に繋がる学習習慣を身に付けるために次のような指導をしています。

- ① 宿題 年長から1年生になった時、宿題をきちんとする習慣はまだ身につけていません。この時期に宿題に取り組む姿勢をしっかりと身に付けるだけで、将来的に学習効果は大きく変わります。
- ② 能力開発 能力開発トレーニングを実施することで圧倒的に頭の回転力が変わります。ここで身に付く力が将来の学力を作ります。
- ③ 読書 毎日、10分間本を読みます。読む習慣さえあればいつからでも学び直せます。ネットの普及により、受験でも早く正確に読む力は強く求められています。
- ④ その他の勉強 漢字ドリル、れんしゅうちょう、パズルなどを用意しています。毎日コツコツ続けることで学力が上がります。
- ⑤ カイチの習い事 かいち学童生は隣接

する開智総合学院の「パスカルキッズ」「トーキングキッズ」「そろばん」の3つの習い事に通塾時間0分で、しかも割引価格で通塾可能です。

- ⑥ アクティビティ 学童で長い間過ごすことになる長期休暇中は、様々なアクティビティを準備しています。子供達から大人気です。



毎日の宿題、読書に体験学習・・・できればいいのは

分かっているけど、仕事に家事に育児に忙しくて手が回らない。そんなご家庭の「できればいいけど」に寄り添う、私達はそんな学童を目指します。子供達とご家庭、そして私達。共に手を取り成長できる。そんな「共育の場」にかいち学童がなれば良いと考えています。移り変わりの激しい社会で「かいち学童」という箱舟は必要だと考えています。かいち学童がこの大雨のような社会変化に立ち向かえる強い箱舟になれるよう、私達も頑張っていきたいと思えます。たとえ、大洪水が起きても未来に向けて走っていけると約束した虹のように、私達も子供達に可能性や希望を与える場所になれるようがんばります。



かいち学童の様子はここからInstagramを見て入会される方が急増中です!

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

重視すべきは「コミュニケーション」
他塾見学で再認識したカイチの強み

井上 陽平 (カイチ個別主任)

夏の暑さが一段落し、少し肌寒さも感じる季節となりました。



トーキングキッズ生徒と私。イノウエもん

暑さが落ち着いたということは、そろばんの検定、トーキングキッズの英検、そして中学3年生の受験が近づいてきたということです。

私自身も、気を引き締めながら日々の指導にあたっています。カイチの先生達にとって、この時期は指導により熱が入る時期であると同時に、来年度に向けた準備をしていく時期でもあります。私は来年度のカイチ個別の改善に向けて準備をしています。その中で、東京の個別指導塾である「森塾」を見学させてもらえることになり、9月中旬に行ってまいりました。

夕方18時30分からの授業を見させていただいたのですが、とても刺激になりました。まず、スタッフの先生方の元気な挨拶です。私が教室に入った時も、生徒が来た時も、先生一人一人が入口まで出迎え、大きな声で「こんにちは!!」と挨拶をしてくれました。基本的なことですが、先生の元気な声によって生徒が塾に来やすい空気ができているのだと感じました。

始業のチャイムが鳴り、いよいよ授業が始

まりました。私の中では、「個別の授業では先生が大きな声を出すことはないし、静かな授業になるだろう」と想像していました。しかし、授業が始まって教室の活気は止みません。どうしてだろう?と思い授業をのぞくと、先生が、生徒一人一人と雑談をして盛り上がっていたのです。雑談?と思われるかもしれませんが、森塾では生徒とのコミュニケーションを重視して雑談を授業の最初3分程度で行うことをマニュアルにしているそうです。「最近部活どう?」「学校で面白いことあった?」といった具合です。勉強に全く関係のない話ではありますが、この時間があることによって生徒がその日の授業に前向きに取り組む姿勢ができていました。何より教える側の先生も、生徒と同じくらい楽しそうでした。

授業の間、教室をぐるっと一周じっくりと見て回り、気になることがあれば担当の先生に聞いていきました。教室見学終了後、担当の先生とじっくりお話をする時間を取ってもらい、さらに詳しく森塾について質問しました。話を聞いていくと、森塾は「コミュニケーション」を非常に重視した指導システムを築いているとのことでした。森塾が生徒・保護者の方にアンケートを取り続けたところ、塾に求められているのは成績向上と『楽しさ』なんだ、と担当の先生はおっしゃっていました。

今回、森塾を見学して真っ先に感じたのは「まるでカイチの教室に来たみたいだ」と

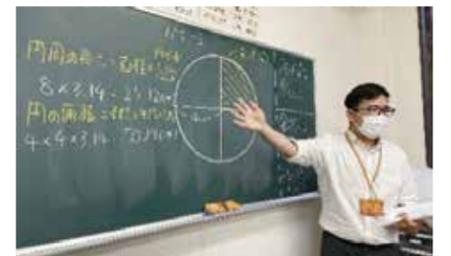
いう感覚でした。何度もこの目で見た、子供と先生が生み出す



森塾もカイチ生も同じ。やるときは集中して一生懸命取り組みます!

エネルギー。そして、塾全体でそのエネルギーを重視する文化。カイチと森塾は、同じ教室像を目指しているのだと強く共感しました。実は私、井上もカイチの元塾生。そろばん→小学部→中学部とカイチでお世話になりました。私がカイチに通い続けた理由は、今の塾長をはじめ、当時の先生方から溢れる圧倒的なエネルギーに惹かれたから。そして、今カイチで先生をしているのは、そんなエネルギーを与えられる人に自分もなりたいたからです。そんな先生の在り方、教室の在り方、個別指導の在り方を再認識しました。

大阪に戻り、現在は来年度の個別の準備を再開しています。今回の見学で得た学びと気づきをヒントに、来た生徒を元気にする、カイチらしい個別指導を作ってまいります。



森塾を見て「教室は活気が大切」と再認識し、授業に燃える私。